

レビュ項目 (事業名)	不妊治療支援強化事業				部(局)	保健医療部				
					所管課	健康増進課				
					担当班	保健・栄養指導班				
					連絡先	078-362-9115				
開始年度	令和6年度	終了年度	-	関連計画等	-					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県				
事業目的	不妊治療に関し、令和4年4月から保険適用となったが一部の治療方法が保険適用外であること、保険適用回数に制限があること、医療機関の偏在により遠方への通院が必要であること等による経済的負担を軽減し、安心して不妊治療を受けられる体制を整備する。 また、若者世代を対象に、妊娠・出産の希望を含む自分たちの将来設計を考えて日々の生活や健康に向き合うプレコンセプションケアについて普及啓発を行い、理解促進を図る。									
事業概要	(1) 保険適用外の先進医療費助成事業 ・対象 県内医療機関で先進医療を受けた夫婦(妻の年齢が43歳未満) ※事実婚を含む ・助成額 1回(胚移植までの1クール。以下同じ。)あたり3万円(回数制限なし) (2) 先進医療にかかる通院交通費助成事業 ・対象 本人(同行者は対象外) ・助成額 1回の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内 ・対象手段 鉄道運賃、特急料金、バス、自家用車、高速道路料金 (3) Z世代へのプレコンセプションケアの推進事業 県内の高校生及び大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施。									
令和6年度 当初予算	205,700	千円	(国庫)	0千円	(特定)	205,700千円	(起債)	0千円	(一般)	0千円
評価 指標	指標名	5年度 見込	6年度 目標	7年度 目標	最終目標 【年度】	設定の考え方				
	成果指標(アウトカム指標①)					【設定の考え方】 経済的負担が軽減された人数 【目標数値の考え方】 特定不妊治療費助成事業のR3年度実績並				
	不妊治療(先進医療)助成件数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	-	3,000	3,000	3,000 【毎年度】					
	成果指標(アウトカム指標②)					【設定の考え方】 安心して不妊治療を受けられる体制の満足度 【目標数値の考え方】 助成を受けた患者全員が安心して不妊治療を実施				
	先進医療費等の助成を受けた患者のうち、経済的負担が軽減され、安心して不妊治療を行うことができた割合(アンケート実施)	-	100%	100%	100% 【毎年度】					
	成果指標(アウトカム指標③)					【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する理解度 【目標数値の考え方】 受講者全員の理解向上				
	出前講座を受講した学生のうち、プレコンセプションケアに関する理解が高まった方等の割合(アンケート実施)	-	100%	100%	100% 【毎年度】					
	成果指標(アウトカム指標④)					【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する普及の参加人数 【目標数値の考え方】 各学校1クラスに出前講座を実施(県内高校1クラス平均35人×70回)				
	プレコンセプションケア出前講座の参加人数	-	2,450人	2,450人	2,450人 【毎年度】					
	活動指標(アウトプット指標①)					【設定の考え方】 不妊治療等に関する事業の広報資料の配布箇所数 【目標数値の考え方】 婦人科等を有する県内医療機関(359施設)や各市町(41市町)に広報資料を配布				
不妊治療等に関する事業の広報資料の配布箇所	-	400	400	400 【毎年度】						
活動指標(アウトプット指標②)					【設定の考え方】 プレコンセプションケアに関する普及の実施回数 【目標数値の考え方】 3年間で1回は受講できるよう県内高校約210校を3年間で回る。					
プレコンセプションケア出前講座の実施回数	-	70	70	70 【毎年度】						
終期設定	有・ 無 (下記改善基準に基づき見直しを実施)									
改善基準	国の保険適用医療の拡大状況、執行実績等を踏まえ、見直しを検討									
見直し結果	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標については、当初設定のとおりとする。 ・先進医療費助成及び通院交通費助成の申請受付のオンラインフォーム内に「助成制度を知った方法」を確認するアンケートを設けた。 ・不妊治療と仕事の両立のため、ポータルサイト「妊活はじめの一歩。」に職場の理解を促す動画を掲載した。 ・新設の「プレコンセプションケアを推進する動画や職場理解を促す動画を掲載した。 ・プレコンセプションケアの普及啓発として、県内の学校や大学にプレコンセプションケアに関する広報資料を配布し、県のポータルサイト内にも広報資料を掲載する。 									